

新庁舎等の基本設計がまとまりました

～人と自然が輝くオホーツクのまち～



外観イメージ

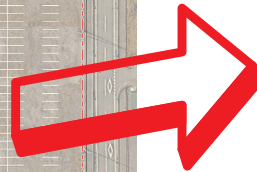
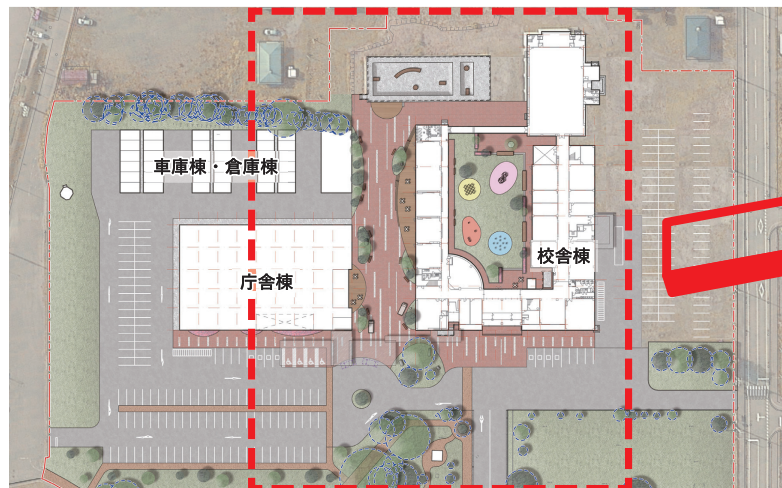
町では、令和10年度供用開始に向けて昨年5月に策定した「新庁舎建設等基本計画」に基づき、新庁舎に係る建物配置、機能、平面計画などの基本設計図書がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

◆新庁舎等の概要（計画敷地・建物）

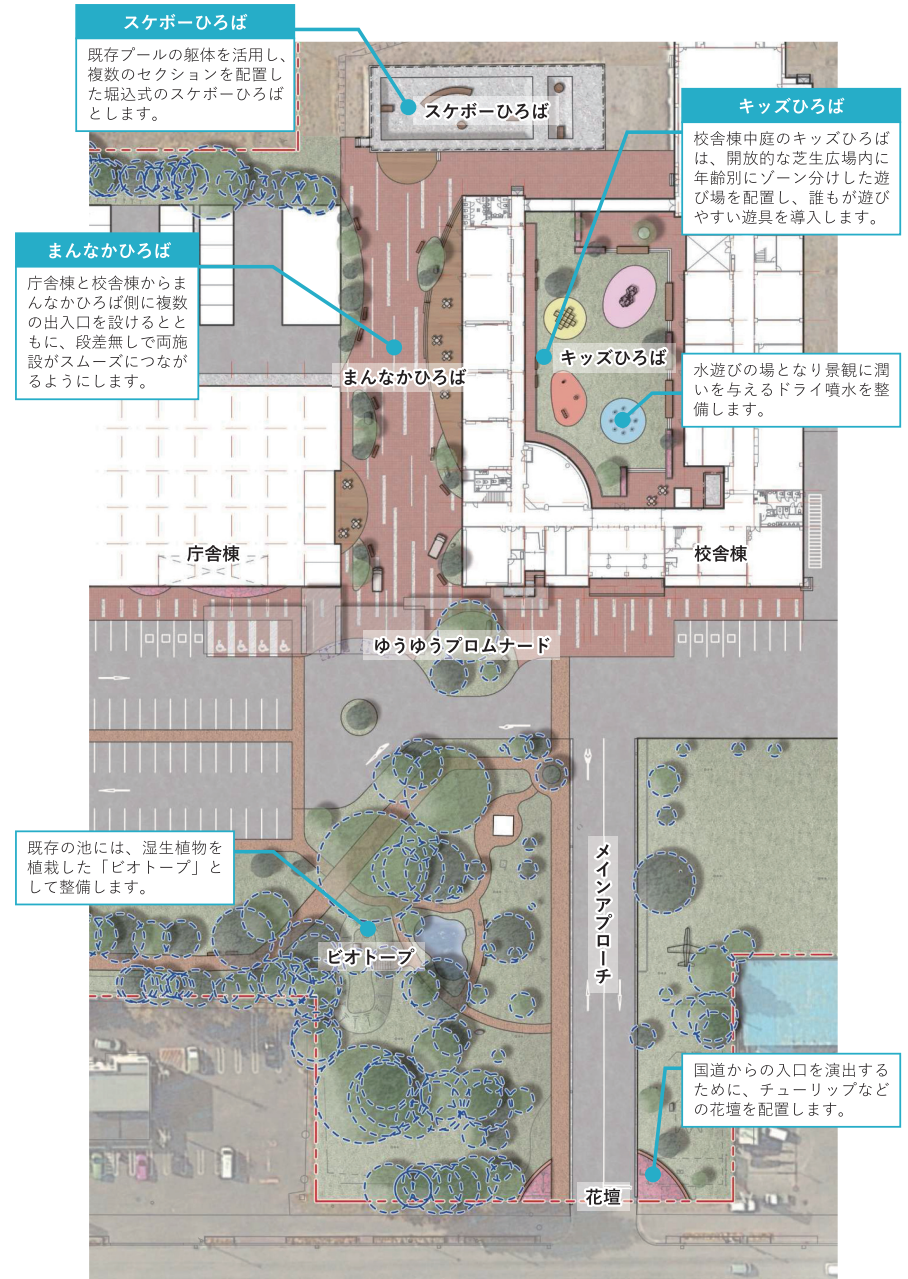
所在地：湧別町中湧別南町914番地ほか
（旧中湧別小学校敷地）

敷地面積：35,893㎡

	庁舎棟（新築）	校舎棟（改修）
構造	鉄筋コンクリート造+木造（混構造）	鉄筋コンクリート造
階数	地上2階建て	地上2階建て
延べ面積	3,613.52㎡	3,869.60㎡



外構計画 庁舎棟



平面計画 庁舎棟



執務ゾーン

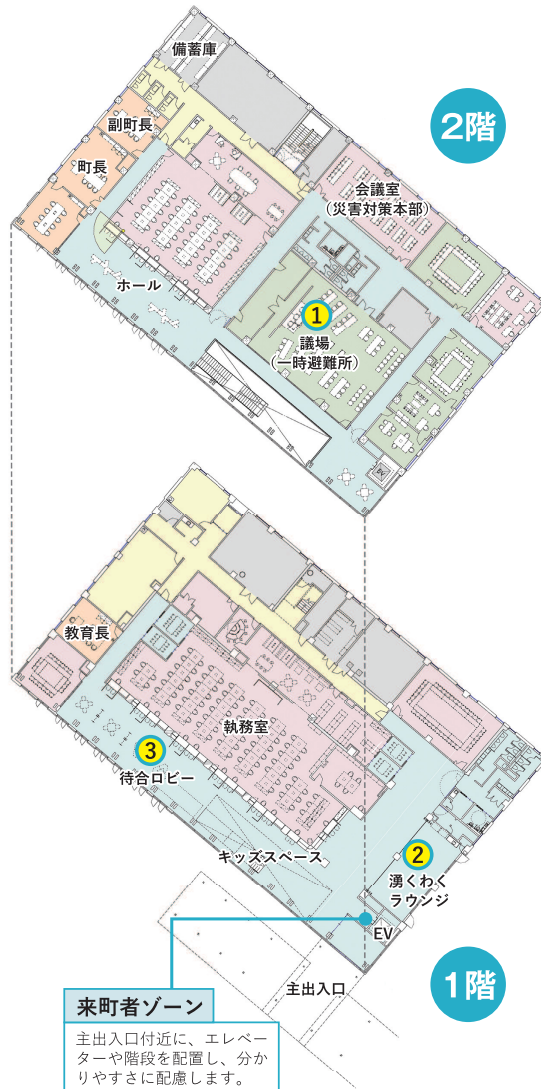
1階の窓口は町民の利用が多い課を配置します。



浸水時に備え、災害対策本部やサーバー室、備蓄庫は2階へ、受変電設備などは屋上に配置します。

議会ゾーン

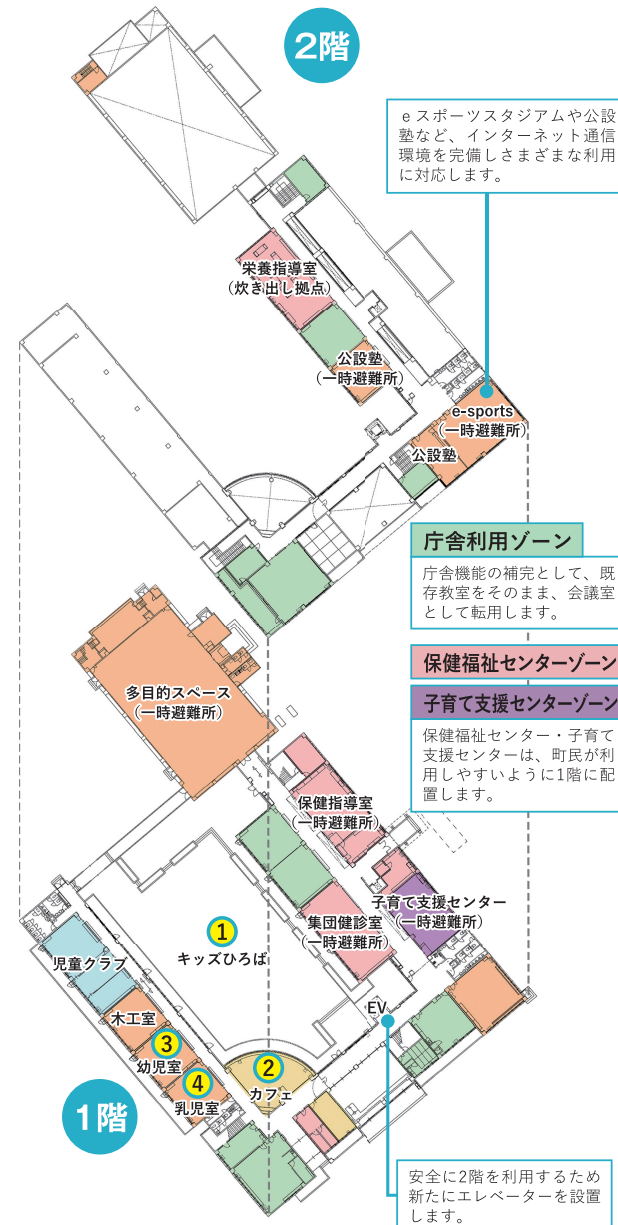
議会部門は2階に集約して配置し、利便性に配慮します。



来町者ゾーン

主出入口付近に、エレベーターや階段を配置し、分かりやすさに配慮します。

平面計画 校舎棟



庁舎利用ゾーン

庁舎機能の補完として、既存教室をそのまま、会議室として転用します。

保健福祉センターゾーン

子育て支援センターゾーン

保健福祉センター・子育て支援センターは、町民が利用しやすいように1階に配置します。

安全に2階を利用するため新たにエレベーターを設置します。



環境配慮計画

町有林を活用

待合エリアは、町有林を活用した木造にすることで、脱炭素に貢献し、町の資源を有効活用します。



地中熱の活用

年間を通じて一定温度の地中熱ヒートポンプを導入し、空調エネルギーとして利用します。



ZEB Ready庁舎

建築性能を高め、自然エネルギーの活用と省エネ技術により、ZEB Ready庁舎を目標とします。



照明の最適化

全館LED照明を導入し、室内環境に応じた照度調整やセンサーを活用して負荷を最適化。無駄な点灯を防ぎます。



太陽光発電

太陽光発電設備や蓄電池を設置します。



※ZEB：ネット・ゼロ・エネルギー・ビル

快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のこと
※ZEB Ready

ZEBを見据え、建物の壁や屋根の高断熱化や高効率な省エネルギー設備を備えた建物

防災計画

●庁舎棟

- ・上湧別庁舎、湧別庁舎・文化センターさざ波に分散した行政機能を集約するとともに、災害対策本部機能を1カ所にまとめることで、災害時に迅速に指揮、復旧支援ができる施設を目指します。
- ・災害応急対策の期間は3日と想定し、災害対策本部のライフラインが確保できる計画とします。

電 源

【非常発電】

商用電源が途絶した際には自家発電機により連続72時間供給

【燃料備蓄】3日分

※庁舎棟＋校舎棟

飲料水

ペットボトルにより確保

災害時には飲料水に限らず、災害協定を締結している「(株)セブン-イレブン・ジャパン」様、「(株)ツルハ」様、「DCMニコット(株)」様から必要物品を提供していただきます

雑用水

雑用水槽に常時備蓄
※非常時の7日分相当
※校舎棟は、既存高架水槽に常時備蓄

排 水

下水管が破断した際には、緊急排水槽に排水
※非常時の7日分相当

●校舎棟

- ・栄養指導室は既存の調理台を再活用して、災害時には炊き出しの調理場として機能します。
- ・災害時に対応するため、一時避難所と災害用備蓄庫を完備します。

◆事業スケジュール

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
	基本設計・実施設計	新築・改修工事	外構工事(ひろば)	外構工事(駐車場)

◆概算事業費 ※今後の社会情勢、物価変動により、概算金額が変動する可能性があります。

区 分	概算工事費	備 考
庁舎棟新築工事	33億6,800万円	建築・電気設備・機械設備工事
校舎棟改修工事	10億1,400万円	建築・電気設備・機械設備工事
外構工事等	6億7,800万円	各ひろば・駐車場・車庫等
その他費用	5億6,300万円	設計、備品購入
解体工事	2億8,000万円	湧別庁舎解体
合 計	59億 300万円	
上記の内、実質町負担額	26億9,300万円	

◆町民説明会での主な意見 参加延べ人数157人（実人数124人）

9/2 文化センターTOM 9/3 文化センターさざ波 9/4 芭芭地区会館、上湧別コミュニティセンター

庁舎建設について、十分な説明責任を果たしたと評価し、建設に期待を寄せている。若者たちが地域活性化に取り組む中、この庁舎を地域発展の起爆剤として町づくりをさらに進めていただきたい。

答

貴重な意見として賜ります。

人口減少の中、工事費の上昇を懸念しており、財政面が心配である。

答

現在のところ財政的に大変になるという心配はありませんので、段階的にインフラ整備、各種事業を推進しつつ、この計画を進めています。

湧別地区の出張所に多めの人員を配置してほしい。

答

必要な職員数を置いて、住民サービスには影響のないように考えます。

町有林を庁舎に活用する発想は良く、針葉樹以外の木もぜひ活用してほしい。

答

町有林の使用は当初から進めていた部分であり、針葉樹、広葉樹、天然林も町有林にたくさんあるので、活用を検討します。

◆パブリックコメント（意見募集）による主な意見 募集期間（8/6～9/11）意見総数5件（4人）

庁舎棟についてはシンプルな設計で維持管理コストを抑えるべき。校舎棟の大規模改修は不要で、必要な場合のみ対応の方が良い。町の人口減少や職員減少を見据え、現状での活用をすべき。太陽光発電の導入は必要ない。

答

庁舎棟の外観や内装は華美にする考えはしていません。校舎棟の改修は、用途変更にもなる法令適合や照明のLED化、空調設備・エレベーター新設などの設備更新が主なものです。

本町はゼロカーボンシティを宣言しており、庁舎棟はZEB Ready達成を目指すうえで、太陽光発電、蓄電池、地中熱活用設備の導入は必要と考えています。

近隣市町にも新庁舎はあるが、これほどの複合施設は少なく、子ども達も湧別にこれができることを喜んでいます。現在の交付税や道予算を活用できるタイミングを逃すと、物価や建設コスト上昇、人口減少、税収減などでさらに困難になります。将来の町職員確保や住民サービス維持の観点からも、計画を先送りすると負の遺産となり、子ども達や若い世代にも悪影響を及ぼすと懸念しています。

答

建設コスト増加や国からの財政支援を考慮し、現時点での整備が最善と判断して計画を進めています。新庁舎等が、子や孫に負の遺産としてではなく、現在の子も達が将来にわたり有効活用できる施設となるよう計画を進めていきます。

その他いただいたご意見は、町ホームページでご覧いただけます。

